

「新時代に対応した高等学校改革支援事業（普通科改革支援事業）」

普通科新学科通信

No.18

令和6年2月7日発行

発行 探究科設置準備委員会

和歌山県立橋本高等学校とのオンライン交流について、報告します。橋本高校は、本校同様に普通科改革支援事業の指定校で、昨年1月に学校視察をさせていただいたことを契機に生徒の交流が始まりました。今回が2度目の交流です。

日 時 2月2日（金）5校時

対 象 橋本高校2年生（5クラス）と本校普通科1年生（5クラス）

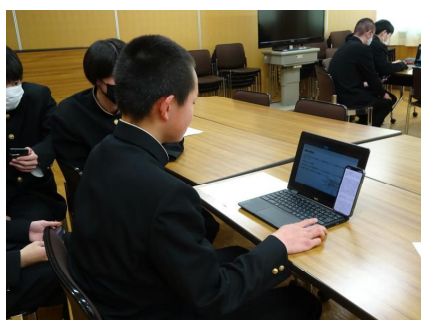
橋本高校2年の井田理恵さんの司会進行により、オンライン交流を開始しました。今回はクラス単位での交流を実施しました。

1 橋本高校生徒の発表と質疑応答

橋本高校は「SDGsの達成を視野に入れた学習」を実施しています。2年生はSDGsの17項目の目標から課題を設定して探究活動を行っており、「食品ロスをなくすために」など、身近な課題について探究した成果を発表しました。その後、本校生徒からの質問に答えていただきました。



2 本校生徒の発表と質疑応答



昨年9月に開催した発表会「地域創生に関するプラン」の中から、各クラス代表が発表しました。この内容は11月に「NoMaps 釧路・根室2023」の「高校生ビジネスコンペティション」で発表したものです。

「釧路管内を盛り上げよう」「釧路養殖物語」など、釧路市や釧路管内の課題を解決するために探究活動を実施した成果を発表しました。

3 グループ交流

クラス毎に4グループに分かれ交流を実施しました。短時間ではありましたが、お互いの学校の学習や学校生活に関すること、橋本市と釧路市の紹介など、積極的に意見を交換することができた様子でした。

橋本高校は、平成18年に和歌山県立古佐田丘中学校を設置し、「併設型中高一貫教育校」として現在に至っています。世界遺産高野山の麓に位置していることもあり、高野山の文化・歴史に関する学習も実施しています。

次年度以降も、交流学习を継続するため今後も橋本高校と連携を取りながら、事業を進めていきたいと考えています。



